



四万十市

# 災害時ごみ処理ハンドブック



災害発生後には、  
大量のごみが発生します。

災害時のごみ処理について、  
どのように対応すればいいのか  
事前に知っておき、  
住民同士協力し合うことが、  
円滑な復旧と復興につながります。

災害時に出るごみは「生活ごみ」と「災害廃棄物」の  
2つに大きく分類され、ごみを出す場所が違います。

## 生活ごみ

### 普通ごみ

生ごみ  
プラスチック類  
など



### 資源物

あき缶  
あきびん  
ペットボトル  
紙類  
など



## 災害廃棄物

### 片付けごみ

壊れたり、水に浸ったりして  
使えなくなった家具・家電・畳  
災害で発生した「粗大ごみ」  
など

### がれき

壊れた家屋  
建物から発生する木くず  
コンクリート  
など



出し方は中面をチェック!!

保存版

令和6年7月発行

# 生活ごみの出し方

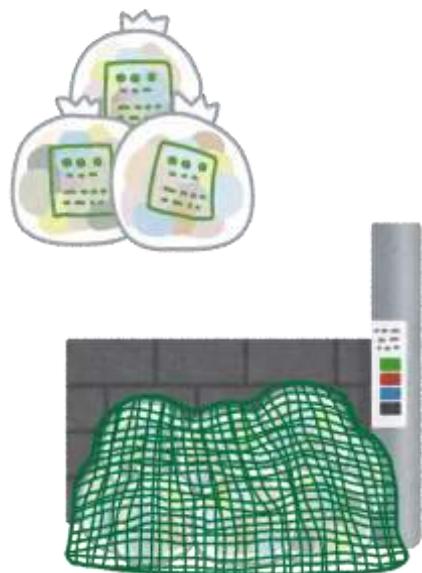
## 「普通ごみ」は最低3日間自宅で保管

市からのお知らせ（情報発信）があるまでは、  
「普通ごみ」は自宅で保管してみてください。  
災害発生後3日以内の収集再開を目指としています。

## 「資源物」は自宅で保管

「普通ごみ（特に生ごみ）」は腐敗や  
悪臭による衛生面の問題があるため、  
「普通ごみ」を優先して回収します。  
資源物は収集体制が整うまでは自宅にて  
保管してください。

資源物の回収は準備が整い次第お知らせします。



## 「いつものごみ集積所」に出す

収集が再開したら、普通ごみと資源物は  
これまでのごみ集積所に出してください。

# 災害廃棄物の出し方

## 災害廃棄物とは

- ・災害によって使えなくなったもの
- ・片付けごみ
- ・がれき

## 「出せるもの」

- ・可燃物（家具類・プラスチック・衣類など）
- ・不燃物（ガラス・陶磁器くずなど）
- ・コンクリートがら等のがれき
- ・布団・畳・カーペット等
- ・消火器・ガスボンベ・スプレー缶
- ・スレート板・石膏ボード等
- ・灯油等
- ・ペンキ・シンナー類・農薬等
- ・金属くず
- ・草木・柱角材等
- ・家電4品目（冷蔵庫・洗濯機・エアコン・テレビ）
- ・上記以外の家電品（掃除機・レンジ等）

## 「出せないもの」

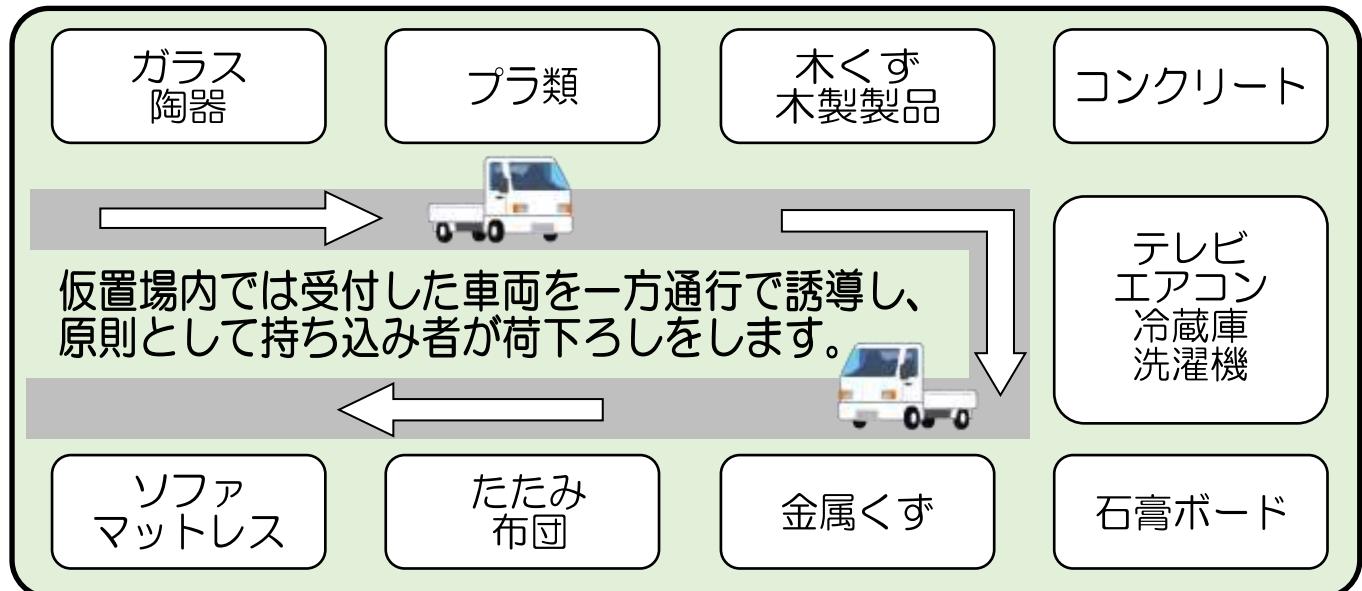
- ・日常の生活ごみ
- ・事業所から出たごみ
- ・産業廃棄物



# 市が指定する仮置場に出す

災害の規模や状況に応じて公園や空き地等に開設する予定です。開設期間や時間等については状況に応じて、市HP、市LINE、防災無線等でお知らせします。

## 一般的な仮置場レイアウト



※実際の分別品目や配置は、災害の規模や被災状況などで変わります。

ごみは品目ごとに分別した状態で持ち込んでください

車にごみを積み込む時から分別しておくと、仮置場で荷降ろしする時間を大幅に短縮することができます。

### 分別ルールが守られないと・・・

- ⇒処理の期間、時間、費用の増加
- ⇒腐敗性の廃棄物による悪臭や害虫の発生
- ⇒スプレー缶・カセットボンベなどによる火災の危険

「災害廃棄物仮置場川柳」

仮置場  
分ければ早い  
積み降ろし

### ごみを出す時の服装

- 帽子orヘルメット
- 長袖・長ズボン
- 長靴or安全靴
- 厚手の手袋
- 防塵マスク
- タオル

準備前に  
しておこう



**市が指定する仮置場以外の場所にごみを出さない！**



「令和3年熊本県豪雨災害時の様子」出典：災害廃棄物対策フォトチャンネル([http://kouikishori.env.go.jp/photo\\_channel/](http://kouikishori.env.go.jp/photo_channel/))

## **⚠️ 勝手に捨てると様々な問題が発生！⚠️**

- 市が指定していない仮置場のごみ回収対応は困難。
- 管理・分別されていないため、悪臭が発生する。最悪の場合は火災が発生。
- ごみがごみを呼び、道路をふさぎ、緊急車両、復旧工事車両が通れない。
- 高く積まれたごみが崩れ落ちケガをする。
- 勝手に置いたものを分別・搬送する手間がかかり、必要な支援に手を回せない。

## **普段から、ごみを減らす工夫をしておこう。**

### **今いらないものは処分しておく。**

家の中にある不要な家具・家電などは、リサイクルやごみに出す等、適宜処分しておくことで災害時のごみを減らすことになります。



### **家具・電化製品の転倒防止策をする。**

家具や電化製品を壁や天井に固定して倒れにくくすることで、家具などの転倒・破損を防ぐことができます。災害時のごみを減らすことはもちろん、身を守ることにつながります。

災害時のごみ出しに関する情報は、市HP、市LINE、防災無線等で周知します。

四万十市環境生活課 0880-34-6126